

未来へつなく、みやざきの海のバトン



## 日知屋小と海のリレープロジェクト 第4回目のプログラムを実施

2026年7月8日(水) 【場所】日向市御鋒ヶ浦海水浴場



### 概要

「海のリレープロジェクト」は、日向市教育委員会と連携し、日向市立日知屋小学校の6年生31名を対象に「日知屋小と海のリレープロジェクト」をスタートしました。

本プロジェクトでは、『豊かな宮崎の海を未来へ残していきたい』という想いのもと、5月から7月までの期間、複数回にわたって校外学習や実体験、専門家による講話など、多彩なカリキュラムを通じて海の現状を学習します。



## シーカヤック体験をしよう！

先週に引き続き、今回も海での学習です。

子どもたちが向かったのは、学校から車で 10 分ほどの距離にある日向市御銚ヶ浦（みほこがうら）海水浴場。ここで「シーカヤック体験」と「水辺の安全講習」を行いました。

御銚ヶ浦海水浴場は、宮崎県日向市細島に位置する、海岸線約 200 メートルのコンパクトで美しい海水浴場です。波が穏やかで遠浅なため、子どもたちも安心して楽しめます。

今回「海と一体になれるシーカヤックを通して、もっともっと海の魅力を体感してほしい！」そんな想いを込めて、体験学習がスタートしました。



※B&G 海洋センターのみなさま



※保護者のみなさま

現地で子どもたちを出迎えてくれたのは、宮崎市内の「B&G 海洋センター・クラブ」のメンバーと、小学校の保護者のみなさんです。多くの方々にもご協力いただき、心強いサポート体制のもと、この日を迎えることができました。

### ※B&G 海洋センターとは？

カヌーや SUP（サップ）といった海洋性レクリエーションの普及活動や、子どもたちを対象とした「海辺の安全教室」などを行い、地域のスポーツ振興や青少年の健全育成に取り組んでいる団体です。

## いざ、シーカヤックに乗ってみよう！

まずは、日向市スポーツ協会会長の田中隆幸さんから、シーカヤックの漕ぎ方や注意事項についてのレクチャーを受けました。しっかりと話を聞いたあとは、命を守るライフジャケットを正しく着用。準備万端で、いよいよ海へと漕ぎ出します！



カヤックが安定するまでゆらゆらと揺れて緊張する子、進みたい方向になかなか進めず苦戦する子、最初からあっという間に乗りこなす子など、最初はそれぞれ異なる様子で出発していきました。

しかし、しばらくするとみんなコツを掴んだ様子！

パドルを軽快に使いこなし、さっそうと水面を進んでいきました。



シーカヤックは、まるで海に浮いているかのような「海とのゼロ距離」を体感できる素晴らしいマリナクティビティです。

体験を終えた子どもたちに海の感想を尋ねてみると、

「目の前で魚がピョンと跳ねてびっくりした！」「海から見たら、浜辺にいるみんなが小さく見えた！」などなど、目を輝かせながらたくさんの発見を教えてくださいました。子どもたち一人ひとりの目に、三者三様の素晴らしい景色が映っていたようです。

## まとめ

休憩を挟みながら、たっぷり 1 時間半ほどかけて御銚ヶ浦の海を周遊した子どもたち。

体験の途中には、前回のサーフィン体験と同様に「水辺の安全教室」も実施しました。

「海を思いっきり楽しむこと」と「安全に身を守ること」をセットで学ぶことで、今回も中身の濃い、有意義な学習の時間となりました。



本プロジェクトは、“海”を次の世代へリレーしていく取り組みです。

宮崎が誇る豊かな海を未来へ受け継ぎ、30 年後、50 年後、そして 100 年後も変わらぬ海を守り続けることを目指しています。海洋教育プログラムやビーチクリーン活動、情報発信などを通して、地域社会と連携しながら、“海”という名のバトンを未来へつないでいきます。